

## 平成30年度 事務事業評価シート

事務事業名		医療救護体制整備				所管	健康部 健康課			
<b>事務事業の概要</b>	行政計画	事業NO.	102	計画事業名	災害対策本部の運営力向上					
	長期総合計画体系	[基本目標] Ⅲ-1. 健康づくりと、自立生活を支える基盤づくり				事業の開始・終了年度				
		[小 柱] (2)地域医療の充実				[事業開始]	平成14年度			
		[施策] ①地域医療体制の充実				[終了予定]	- 年度			
	根拠法令等	要綱	〔法令等名〕		台東区災害医療コーディネーター設置要綱、台東区災害薬事コーディネーター設置要綱、台東区緊急時医薬品備蓄事業補助金交付要綱 等					
	事業対象	直接の対象 : 医療関係者 最終的な対象 : 一般区民								
	事業目的	災害時における医療救護活動について、関係機関等の協力のもと、体制整備を推進することで区民の生命と健康を守る。								
事業内容 [29年度]	(1) 総合防災訓練時(荒天中止)や緊急医療救護所設置予定場所等での医療救護訓練(29.6.10)の実施 (2) 区内6ヶ所に開設する緊急医療救護所用の資器材等の整備及び維持管理(ガソリン缶、医薬品等の入替) (3) 区中央部保健医療圏における近隣区との協議【地域災害医療連携会議(30.2.15)】 (4) 地区薬剤師会が行う災害等の緊急時における慢性疾患患者が服用する医薬品の備蓄体制に対する補助金の交付【協力薬局数:31(下谷)、57(浅草) 助成額:500千円】 (5) 東京都柔道整復師会台東支部が行う応急救護活動に要する経費に対する助成金の交付【助成額:250千円】									
委託の有無	なし		委託内容		なし					
補助金の有無	都									
<b>事務事業の実績</b>	種 別	指標の名称		単位	31年度 目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績		
	活動指標	訓練回数(緊急医療救護所訓練)		回	2	2	1	1	2	50.0%
		協議回数(地域災害医療連携会議)		回	1	1	1	1	1	100.0%
	成果指標	訓練参加者(緊急医療救護所訓練)		人	160	137	86	86	140	61.4%
		緊急医療救護所(準じる救護所を含む)設置予定数		ヶ所	6	6	6	6	6	100.0%
	決算額 (単位:千円)					27年度		28年度		29年度
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				6,088		7,744		2,846
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				10,426		8,421		9,218
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				4,866		6,597		1,857
		総経費				1,223		1,148		989
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				16,515		16,166		12,064	
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				0		0		0	
	一般財源(区負担額)				778		777		244	
前回評価から29年度に改善した事項	これまで、昼間の医療救護訓練は行ってきたが、夕方から夜間にかけての医療救護訓練を初めて実施したことで、医療救護活動のシミュレーションを新たに生えた。									
<b>評価の視点</b>	必要性	3	大規模災害時における区民の医療不安を解消するため、行政と関係機関が連携して医療救護体制を整備する必要がある。							
	効率性	3	医薬品の備蓄について、地区薬剤師会の協力薬局におけるランニングストック方式による備蓄やジェネリック医薬品を活用することでコストの削減に努めている。							
	手段の適切性	3	大規模災害時に医療救護活動を行うための資器材は、医療救護訓練での検証、地区医師会等関係機関との会議での検討を踏まえて整備を進めている。							
	目的達成度	2	荒天により10月に行う予定であった医療救護訓練が中止となったが、6月に実施した医療救護訓練においては、整備した緊急医療救護所用資器材を活用し、大規模災害時の医療救護活動のシミュレーションを行えた。							
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
災害時に備えて、緊急医療救護所設置の訓練や、緊急医療救護所用資器材の整備及び維持管理を引き続き行っていく必要がある。						<b>維持</b>		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		